

県 中 広 報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)

令和6年12月9日

(<http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/>)

基本姿勢 “ 連 携 結 束 創 造 ”

第3回理事会

令和6年9月13日(金)に東区民文化センターにおいて、令和6年度第3回理事会を開催しました。

会長挨拶

開会に当たり、谷川会長から次の通り挨拶がありました。

- ① 第58回中国・四国中学校長研究会広島大会(6月19日・20日・21日)のお礼等
- ② 新任校長研修会(8月1日)の成果の報告
- ③ 顧問会(8月24日)の報告



講話

「新しい広島県公立高等学校等入学者選抜制度に係る成果と課題について」

講師 広島県教育委員会 教育改革課 入学者選抜制度推進担当
主査 宮浦 貴 様



報告

次の報告がありました。

- (1) 会務報告(6月~9月).....郷地 忠幸 事務局長
- (2) 第58回中国・四国中学校長研究会広島大会報告.....大会実行委員会
- (3) 中・四国中学校長会連絡協議会報告.....郷地 忠幸 事務局長
- (4) 県公連理事会・評議員会報告.....石井 博基 事務長
- (5) 県公連不祥事防止対策特別委員会報告.....木村 健二 幹事
- (6) 四専門委員会報告
学校経営：荒森委員長、教育研究：大島委員長、進路指導：松田委員長、生徒指導：小島委員長
- (7) 県中学校教育研究会.....三原 隆行 会長
- (8) 県中学校体育連盟.....村井 康敏 会長

贈呈式

- 弘済会より教育団体研究助成金の贈呈を受けました。(右下写真)

議事

- (1) 第75回広島県公立中学校長会研究大会広島大会について.....現地実行委員会
- (2) 広島県教育委員会への提言書について.....河本 英希 事務局次長
- (3) 広島県公立中学校長会教育ビジョンの検証・評価について.....林 健太郎 幹事
- (4) 令和7年度県中行事計画(案)について.....郷地 忠幸 事務局長
- (5) 部活動の推薦について.....谷川 清二 会長

諸連絡

- (1) 古岡奨学金の推薦について
- (2) 令和7年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項について
- (3) その他
 - ① 全国中学校研究校便覧第37集の推薦校について
 - ② 県中負担金、県公連会費、研究校便覧第36集、全日中岩手大会参加費等の領収書 等



第3回・第4回四専門委員会

8月30日（金）に東区民文化センターで予定されていましたが、台風接近のため中止となりました。この中止分につきましては、メールで情報共有をする等、各委員会において臨機応変に対応しました。アンケート調査の結果分析・考察を行い、今後の方向性を確認するとともに、各地区で課題を共有し、解決に向けた取組を進めていくことについて協議いたしました。

※ 教育研究委員会においては、9月30日（月）に参集し、以下の講師からご指導をいただきました。

広島県教育委員会 義務教育指導課 主任指導主事 小池 紘太郎 様

※ 進路指導委員会においては、10月8日（火）に委員長と副委員長が、以下の講師から助言をいただきました。

広島県教育委員会 義務教育指導課 主任指導主事 丸山博章 様

11月7日（木）には、東区民文化センターで第4回四専門委員会を開催しました。各委員会で本年度の研究のまとめ（次回が最終で1月10日）に向けて、報告内容の確認や見直し、当面する課題等について話し合いが進められました。



県公連生徒指導委員会研修会

10月29日（火）に県公連生徒指導委員会研修会がサテライトキャンパスひろしまで開催されました。当日は、広島大学 大学院医系科学研究科 博士/専門作業療法士 石附智奈美 様に「児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性を伸ばす生徒指導 ～コグトレの活用を通して～」と題し講演していただきました。

『困っている子ども』の特徴に見られる認知機能の弱さ、感情統制の弱さ、融通の利かなさ、不適切な自己評価、対人スキルの乏しさ、身体的不器用さに対する包括的支援としてのコグトレ（Cognitive Enhancement Training）について、具体的に個人演習、ペア演習、グループ演習と形態を変えながら、分かりやすく指導のポイントも含めて教えていただきました。今回の研修会では、コグトレの活用は『困っている子ども』の認知機能強化に効果的であることを学ぶことができました。

県公連不祥事防止対策特別委員会

今までに、4回開催（5/13、6/17、9/2、11/5）され、活発な議論がなされています。

本委員会としては、管理職が、次の3点を意識して取り組むことが、不祥事根絶の基盤となると提言しています。

- （1）法規法令に基づく適正な学校運営を行う。
- （2）管理職自身が服務規律の遵守等について率先垂範する姿勢を見せる。
- （3）校長会等によるつながりを大切にし、情報交換や相談がしやすい風土の醸成を進める。

なお、アンケート等の詳細につきましては12月25日の県公連研究大会において報告されます。

県中顧問会

8月24日（土）に東区民文化センターで第38回県中顧問会を開催しました。顧問（歴代会長）9名にご出席いただき、県中校長会から次の項目について説明しました。

- ①令和6年度県中基本姿勢及び活動方針等について
- ②提言内容の推進について
- ③第58回中国・四国中学校長研究会広島大会について
- ④県教委との連携について

顧問の方からは、「中国・四国中学校長研究会広島大会が盛会だったとのこと。大変喜ばしい。しっかりと検証し、成果を発信してほしい。」や、今年度も「広島市とともに活動できるようになったことは大変喜ばしい。」「四専門委員会の活動は広島県の校長会の宝である。大切にしてほしい。」等の貴重な御意見をいただきました。今後の県中校長会の発展につなげていきたいと思っております。